

「松江市街路樹適正化計画」(案) に対するパブリックコメントの
結果及び意見に対する市の考え方について

1. 意見募集の結果について

| | |
|--------|--|
| 募集期間 | 平成 31 年 2 月 4 日 (月) ~平成 31 年 3 月 5 日 (火) |
| 資料公開場所 | 市ホームページ、市役所本庁舎・各支所 (行政資料コーナー)、各公民館 |
| 意見提出者数 | 2 名 |
| 意見件数 | 6 件 |

2. 意見の概要と市の考え方

| 番号 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|----|---|--|
| 1 | <p>街路樹植栽には高木 (大径木) となる樹種を極力選ばない</p> <p>イチョウ、ケヤキ、ユリノキ、モミジバフウ、スズカケノキ、トウカエデ、ニセアカアシなどは、道路などの狭隘な植栽基盤では、樹木にとって樹勢衰退が早まる恐れがある。</p> <p>公園など十分な広さと良質な植栽土壌が確保される場所への植栽を基本とすべきと考えます。(但し、緑のリユースは技術的・経費的にも厳しい面が多い)</p> | <p>松江市内の街路樹の樹種は、高木で 66 種あります。</p> <p>現在、植樹されている街路樹は適正化計画に基づき管理し、新たに植樹する街路樹については、周囲の環境も考慮しつつ、街路樹に適した樹種を選定していきたいと思えます。</p> |
| 2 | <p>街路樹としては、中木 (高さ約 3~6m) までの生長に止まる樹種を選定したい。</p> <p>松江市の道路でよく見かける中木としては、クロガネモチ、イヌエンジュ、ヤマモモ、サルスベリ、クロマツ (但し整枝・剪定がなされている) などを見かける。</p> <p>今後の更新期待樹種としては、松江市の花木である椿、松 (アカ・クロ) や大気汚染に耐性があるヒトツバタゴ (ナンジャモンジャの木) なども多く選択したい。</p> <p>なお、低木としては、旧市町村 (鹿島、東出雲、宍道) ではつつじを指定しているところが多い。</p> <p>また、県の花としてはボタン (八東)、木としてクロマツが指定されている。</p> | |

| 番号 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|----|---|--|
| 3 | <p>現在、植栽されている街路樹の手入れ等について</p> <p>多くの街路樹として植栽されている高木系の植栽間隔は10m以下と過密状態で、隣木と接していることが多い。</p> <p>更新が可能であれば、計画（案）に記述されているように樹木を適当に間引き、中木、低木を交えた配置に変更することが望ましい。</p> <p>現在の樹木配置のまま管理していくとなると、街路樹診断等を定期的実施し安全確保を最重要視していくことが求められます。</p> <p>整枝・剪定はどの樹種も必要であるが、高木系は早めに枝抜き剪定（すかし剪定）を実施し、樹木の高さや広がりを抑制する手入れは有効と考えます。</p> | <p>植栽間隔の狭い街路樹は、適正化計画に基づき、間引いていきます。</p> <p>また、老木化した街路樹も多数あることから、街路樹診断を適時行い、診断結果に基づき、処置を講じるなど安全確保に努めてまいります。</p> <p>枝抜き剪定は、病虫害防除にも有効であり、整枝剪定とともに実施し、適正に管理していきます。</p> |
| 4 | <p>街路樹の倒伏等による傷害事故の発生リスクを減らす仕組み作り</p> <p>街路樹等公共施設の管理責任者と事故被害者の二者間だけの問題とせず、日常の道路通行利用者・地元地域住民・道路維持管理業務に携わる事業者（業者）全体で気を配り、リスク情報を共有（ほうれんそう）できるシステムを早急に検討・構築していくことが必要と思われま</p> <p>特に、松江市の維持・管理経費の財政面を考慮すれば、地域社会の「みどり」は自分らで守っていく主体的保全活動（清掃等のボランティア活動等）は、樹木による各種危険性を予知し、リスク軽減を図れる基本的行動と考えられます。</p> <p>こうした実践環境づくりには、行政側としても地域の指導者養成（人づくり）などに積極的な支援をしていくことが重要です。</p> | <p>昨今、全国的にも街路樹の倒木による事故が多く報告されています。</p> <p>これは、主に老木や病虫害被害にあった街路樹によるものであります。</p> <p>松江市でも、このような樹木の早期発見に努め、処置を講じていかなければならないと考えています。そのためにも、行政だけでなく地域の皆さまにも協力していただけるような仕組み作りも検討してまいります。</p> |

| 番号 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|----|--|--|
| 5 | <p>私が居住する橋南路線しか閲覧しておりませんが、莫大な樹種そしてきちんと路線別、樹種別に掌握されている資料には驚きました。</p> <p>私たち市民もできることは自分たちで、落葉等処理は協力していかねばと思い「乃木地区」のたい肥作り等頭が下がります。苦情等で一度行政が処理するとそれが当たり前になり「前にもしてもらった。」などと言う市民もいます。貴重な税金を使っているんだという危機感がないように思います。今回の計画案賛成です。</p> | <p>街路樹の落ち葉などをボランティアにより、収集、清掃などを行っていただいている地域もあり、大変感謝しているところであります。松江市としましても、この取り組みが市域全域に行き渡る仕組み作りや支援などの施策を検討してまいります。</p> |
| 6 | <p>「市道松江駅南口線」の街路樹は伐採してほしいです。</p> <p>「市道小浜堂ノ前線」で今回の方針からもれていますが、南側歩道の街路樹とおのれ生えの木が大きくなり、合わせて伐採できないでしょうか。</p> | <p>「市道松江駅南口線」の街路樹は、間引く計画となっています。</p> <p>「市道小浜堂ノ前線」の南側歩道新田橋西側については、現地確認の上、通行に支障となる場合には対応いたします。</p> |